



\*\*\*\*\*

## 2012 年度 JSiSE 第 4 回研究会 プログラム

\*\*\*\*\*

【主 催】教育システム情報学会

担当：曾我真人，柏原昭博，小尻智子，長谷川忍（研究会委員会）

【テーマ】スキル学習とその支援技術／一般

【日 時】2012 年 11 月 10 日（土）

【会 場】和歌山大学システム工学部 B 棟 1 階 B101 室

（〒640-8510 和歌山市栄谷 930）

・和歌山大学のトップページ

<http://www.wakayama-u.ac.jp>

・交通アクセス（バスの時刻表も掲載されています）

<http://www.wakayama-u.ac.jp/access.html>

・南海電鉄和歌山大学前駅からの徒歩ルート

[http://www.wakayama-u.ac.jp/file/guidemap\\_shinneki.pdf](http://www.wakayama-u.ac.jp/file/guidemap_shinneki.pdf)

（上記 Web ページ中のゴール 2 が会場付近です）

・キャンパスマップ

<http://www.wakayama-u.ac.jp/file/campus-map.pdf>

■□■□プログラム□■□■ 1 件 25 分（発表 15 分，質疑 10 分）

◇開 場 9:30

◇開会の挨拶 10:00 ～10:05

◇セッション 1（一般発表）10:05～12:10

10:05～10:30

1) アルゴリズム的思考法教育を支援するビジュアルプログラミング環境の開発

○小林慶，國宗永佳，香山瑞恵，新村正明（信州大）

10:30～10:55

2) プログラミング学習者向け自習環境の構築と利用事例分析

○伊藤 恵，佐藤智紀，椿本弥生（公立はこだて未来大）

10:55～11:20

3) 教員養成学部生向けビジュアルプログラミング授業の実践

○深谷 和義（椋山女学園大）

11:20～11:45

4) 自由進度学習支援システムへの統計モデルの応用

○松田 健（サイバー大）

11:45～12:10

5) モバイル端末と PC による学習効果の比較 ―モバイルラーニング事例―

○小迫宏行（株式会社ライトワークス）

◇休憩（昼食） 12:10～13:10

◇セッション 2（一般発表） 13:10～14:25

13:10～13:35

6) 京都西川との産学連携プロジェクトの実践報告

○酒井浩二，知念葉子，大澤香奈子（京都光華女子大）

13:35～14:00

- 7) 介護職員等実務研修におけるシリアスゲーム活用の検討  
○坂本毅啓, 佐藤貴之 (北九州市立大)

14:00～14:25

- 8) 遺伝アルゴリズムを用いた座席配置決定手法  
○中井裕亮, 新池一弘 (舞鶴工業高等専門学校)

#### ◇休憩 14:25～14:35

#### ◇セッション3 (一般発表／テーマ発表) 14:35～15:50

14:35～15:00

- 9) JavaServlet 学習のための Web ベース統合開発システムの構築  
○平川裕弥 (香川大学大学院)、香川考司 (香川大)

15:00～15:25

- 10) 非言語認知スキルからの自閉症スペクトラム指数の自動測定  
○田中宏季, Sakriani Sakti, Graham Neubig, 戸田智基, 中村哲 (奈良先端科学技術大学院大)

15:25～15:50

- 11) コーチング力の養成を目指したスポーツ実技実習科目における映像と e ラーニングの活用  
○和田智仁, 田中裕己, 高橋仁大 (鹿屋体育大)

#### ◇休憩 15:50～16:00

#### ◇セッション4 (テーマ発表) 16:00～17:40

16:00～16:25

- 12) スキー指導システムの開発とその課題  
○多田憲孝 (大阪国際大学短期大学部)

16:25～16:50

- 13) Kinect を用いたフライングディスク投動作のキャプチャーとフィードバック  
○山岡滉治, 上原雅貴, 田村恭久, 島 健 (上智大)

16:50～17:15

- 14) 和声学のための学習支援システム ―基本位置3和音の上3声連結課題における学習―  
○亀崎匡識, 松原行宏, 岡本勝, 岩根典之 (広島市立大学大学院)

17:15～17:40

- 15) モーションナビゲータとモーションコンバータの開発と左右反転動作の学習支援  
○廣田一樹 (和歌山大), 石井和喜 (岩本石油),  
西野友泰 (日立ソリューションズ), 曾我真人, 瀧寛和 (和歌山大)

#### ◇閉会の挨拶 17:40～17:45

#### ◇懇親会 18:30～20:30 (予定)

\*\*\*\*\*  
教育システム情報学会 (JSiSE)

2012 年度第 5 回研究会 研究発表募集

\*\*\*\*\*

研究会担当委員：三石 大、佐々木 整、妻鳥 貴彦

- テーマ：ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境/一般
- 開催日：2013 年 1 月 12 日(土)
- 会 場：東北大学(川内南キャンパス文科系総合研究棟)

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1003/>

■ 主 旨：

20 世紀終盤からのインターネットや Web に代表されるネットワークを中心としたネットワークコンピューティングは、グリッド・コンピューティングやクラウドコンピューティングなど、現在では広く活用されるようになってきています。また、iPhone/iPad や Android に代表されるスマートフォン等のモバイル端末の普及による Web とモバイル環境の連携・融合、Ajax や HTML5, CSS3 に代表されるインタラクティブ性の高いソフトウェア開発技術や、これらを活用したクラウド・コンピューティングなどにより、新しい教育・学習環境の可能性がますます広がりつつあります。

そこで本研究会では、ネットワークコンピューティング技術を活用したこれからの教育・学習環境の提案やその開発、実践、そのための教育システムや基礎技術の開発、ならびに将来の教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集します。

■ 主な対象：

- モバイル端末と Web 環境の連携などによる新しい学習形態と手法に関する研究・開発
- クラウド/グリッド・コンピューティングによる新しい教育・学習環境の構築、活用に関する研究
- Web や携帯ネットワーク、センサーネットワーク、アドホックネットワーク等を活用した新しいネットワーク活用・教育手法に関する研究・開発
- ネットワークコンピューティングを活用した新しいデバイス技術に関する研究・開発
- 新しい教育・学習環境と学習効果・教育効果に関する研究
- その他教育システム/e ラーニング一般

■ 発表申込み：※発表申込み締切：2012 年 11 月 16 日（金）

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100 字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. その他（使用機器など）

申込先：第 5 回研究会担当委員(代表：東北大学 三石大)

E-mail：jsise-uml\_at\_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp（\_at\_ を@に変えてください）

■ 発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2012 年 12 月 7 日（金）必着

1. 原稿は A4 用紙で、2 枚以上 8 枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿の様式は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの下部に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
3. 原稿送付方法と送付先  
以下のあて先に、フォント埋め込みされた PDF 形式で、電子メールにて原稿を送信下さい。なお、原稿を PDF に変換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi 以上)、鮮明に印刷可能であるこ

とを確認してください。

また、学会 Web サイトの研究会開催案内ページより「著作物利用許諾書」をダウンロード、必要事項をご記入の上、発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい。

<http://www.jsise.org/society/txt/kyodaku.txt>

送付先：第 5 回研究会担当委員(代表：東北大学 三石大)

E-mail：jsise-uml\_at\_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp ( \_at\_ を@に変えてください )

■ 問い合わせ先：第 5 回研究会担当委員(三石 大、佐々木 整、妻鳥 貴彦)

E-mail：jsise-uml\_at\_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp ( \_at\_ を@に変えてください )

(注) 東北大学大学院教育情報学研究部・教育部 10 周年記念研究会として合同開催

## ■□■□■□■JSiSE 2012 年度 研究会年間予定表■□■□■□■

| 日 時                                      | テ ー マ / 会 場                                                               | 担 当                          |
|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 第 4 回研究会<br>日 程：<br>2012 年 11 月 10 日 (土) | 場 所：和歌山大学<br>テーマ：<br>スキル学習とその支援技術／一般                                      | 曾我真人<br>柏原昭博<br>小尻智子<br>長谷川忍 |
| 第 5 回研究会<br>日 程：<br>2013 年 1 月 12 日 (土)  | 場 所：東北大学<br>テーマ：<br>ネットワークコンピューティングと<br>これからの教育・学習環境／一般                   | 佐々木整<br>三石 大<br>妻鳥貴彦         |
| 第 6 回研究会<br>日 程：<br>2013 年 3 月 16 日 (土)  | 場 所：山口大学 (吉田キャンパス)<br>テーマ：<br>教育の情報化と情報教育／一般                              | 松永公廣<br>西野和典<br>西端律子<br>鷹岡 亮 |
| 特集論文研究会<br>日 程：<br>2013 年 3 月 16 日 (土)   | 場 所：山口大学 (吉田キャンパス)<br>テーマ：<br>医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／<br>ICT を活用した教育の質保証 |                              |

\*\*\*\*\*

## 教育システム情報学会(JSiSE) 2012 年度第3 回研究会 報告

\*\*\*\*\*

テーマ：続<sup>2</sup>教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用／一般

開催日：2012 年 9 月 8 日（土）

会 場：香川大学幸町キャンパス研究交流棟 5 階研究交流スペース（〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1）

共 催：香川大学総合情報センター、e-Knowledge コンソーシアム四国

担 当：林敏浩、小西達裕、安間文彦

発表件数：8 件 参加者数：約 20 名

### 概 要：

昨年度は、台風直撃で中止になった研究会ですが、今回は暑いながらも天候的には問題なく、9 月 8 日に香川大学で開催できました。本研究会は、2010 年度から JSiSE 全国大会企画セッション、第 3 回研究会で、3 年間テーマ連携して、「続<sup>2</sup>教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用」をテーマとしました。近年、大学等高等教育機関、民間、自治体、企業などで種々の形態で連携した教育プロジェクトが多く推進されています。このような教育プロジェクトを含む連携型教育実践を支える教育システムに関して設計、構築、運用の観点から情報共有し、さらに、議論を深めることを目的に企画しました。しかし、3 年間同一テーマということも原因かと思いますが、本テーマでの発表は 1 件にとどまり、全体としても 8 件の発表となりました。しかし、件数が少なかったことにも関わらず、各発表に関して質疑応答は活発に行われ、本音での議論ができたことは今回の研究会の良かった点だったと考えます。

### プログラム：

1. 動的な現象の理解を支援する簡易動画作成システム“Galop”における動画作成過程の可視化  
○裏和宏、松澤祐希・林敏浩・垂水浩幸（香川大学）・中山迅（宮崎大学）
2. 日本語教師の e-Learning 活用を支援する学習コンテンツ作成のためのフレームワーク  
○池内菜々美、林敏浩、垂水浩幸（香川大学）・加藤由香里（東京農工大学）
3. 多肢選択問題の誤答作成支援方法  
○天野弘彬（香川大学工学部）・林敏浩（香川大学総合情報センター）・垂水浩幸（香川大学工学部）
4. 問題の階層構造に対応する Web テスト作成ツールの開発  
○幾度貴恵、野村典子（武庫川女子大学）
5. Android アプリケーション開発学習支援システムの実践  
○佐々木喜一郎（岐阜経済大学）・安田孝美（名古屋大学）
6. 大卒生採用における能力識別に関する定性的・定量的考察  
○柳田明子（東北工業株式会社）・村上英樹（神戸大学）
7. ゲーミフィケーションを活用した e ラーニング教育の可能性について  
○松本多恵（奈良女子大学）
8. e-Knowledge コンソーシアム四国における大学間連携  
○村井礼（四国大学）林敏浩（香川大学）

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。  
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円／年6 回発行＜送料込＞

### ◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、（株）毎日学術フォーラムまで  
お申し込みください。1 部 1,300 円（送料共）です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp URL : <http://maf.mycom.co.jp>

## 論文特集 Call For Paper

### 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／ ICT を活用した教育の質保証

ICT (Information Communication Technology) の高度化により、学習・教育の環境は、研究型から実践型へシフトしてきています。そこで本特集号では、これまで本学会では投稿が少なかった医療分野など専門職を育成する実践重視型の教育活動や、ICT 基盤の普及によって可能となった大量の学習活動データの活用や多面的な教育実践評価、さらにそれらに立脚した教育改善プロセスに着目し、「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」と「ICT を活用した教育の質保証」の2つのテーマに焦点を当てた論文を募集します。

#### 1. 対象分野

##### A) 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育

医療・看護・福祉分野においては、人そのものを対象とするので、コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし、一方では、マルチメディアを活用した e ラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。最近では医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。

そこで本特集では、医療・看護・福祉分野において求められている「高い実践能力をもつ人材の育成、専門知識におけるナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、e ラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境の構築、著作権処理」をキーワードにして、この分野における専門職教育に必要な知識や技能の習得を支援する研究・開発・実践に関する論文を募集いたします。

##### B) ICT を活用した教育の質保証

教育現場に ICT が初めて導入されてから何年も経ち、現在では、教育の質保証または向上、教育の実質化、そして学習支援に活用されています。その用途には、大学改革を促進するために、教学マネジメントの強化に関する IR(Institutional Research)、教職員向けの研修(FD/SD)、図書館や博物館などを含む教育施設や教育機関との連携など組織的な利用があります。また、学習者の主体的な学びを実現するために、e ラーニングや e ポートフォリオなどを用いた教育実践や評価も進められています。

このような背景を踏まえ、本特集では、教育の質保証・実質化に関連する研究を広く募集します。IR、FD/SD、教育連携などと合わせて、システム開発やコンテンツ作成、学習支援の環境や技術、教育実践と評価、カリキュラム設計、インストラクショナルデザイン、学習科学など、教育に関連した幅広い分野からの論文を募集いたします。

#### 2. 論文種別

すべての種別の論文（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）を募集します。今回は特に、今後、ICT を活用した教育方法の発展が期待される医療・看護・福祉分野における実践および ICT 基盤を活用した教育改善やそれにつながる学習活動データ活用、教育実践評価に関する優れた事例やユニークな取り組みなど、速やかに公表することにより本学会会員の参考となるショートノートや実践速報の積極的な投稿を奨励します。なお、査読結果により、投稿時とは異なる種別での採録となる場合もあります。また、特集号編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱う場合もあります。

#### 3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。以下、Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- ・すべての方へ：「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- ・特集研究会（2013年3月16日（土）於；山口大学）で発表を行った方へ：投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

#### 4. スケジュール

特集研究会：2013年3月16日（土） 於；山口大学

※特集研究会の発表申込等のスケジュールはメールマガジン、ニュースレター等で後日ご連絡いたします。

発表申し込みは1月中旬、原稿〆切は2月中旬を予定しています。

投稿原稿〆切：2013年4月20日（土）（特集号研究会から約1か月後です）

掲載予定巻号：2014年1月1日発行予定の学会誌（Vol.31, No.1）

#### 5. 特集号編集委員会

委員長：仲林清（千葉工業大学）、副委員長：小西達裕（静岡大学）

特集幹事：真嶋由貴恵（大阪府立大学：「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」担当幹事）、

合田美子（熊本大学：「ICTを活用した教育の質保証」担当幹事）、

林雄介（名古屋大学）、小島一晃（早稲田大学）、

委員：学会誌編集委員+特集編集委員

#### 6. 問い合わせ

- ・特集号全般に関する問い合わせ：

特集号編集委員会幹事 林 雄介（名古屋大学 E-mail: hay@icts.nagoya-u.ac.jp）

- ・Web 投稿に関する問い合わせ：

教育システム情報学会編集事務局（電話：03-5389-6492 E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献印刷社 長澤

### 国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員みなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

#### 2013 年 7 月開催

##### ◆ HCI International 2013: 15th International Conference on Human-Computer Interaction

- ・開催期間：21 - 26 July 2013
- ・開催地：Las Vegas, Nevada, USA
- ・URL：http://www.hcii2013.org/
- ・論文投稿スケジュール：

Abstracts for Papers in 800 words: Friday, 12 October 2012

Abstracts for Posters in 300 words: Friday, 1 February 2013

##### ◆ New Technology and User Experience for Next Educational Environment (Organized Session in HCI International 2013)

- ・URL: http://www.stein.cite.tohoku.ac.jp/hcii2013-edu/
- ・論文投稿スケジュール：

Friday, 7 September 2012 with extended abstract of 800 words

##### ◆ AIED 2013: Artificial Intelligence in Education 2013

- ・開催期間：July 9-13, 2013
- ・開催地：Memphis, United States
- ・URL：http://aied2013.memphis.edu/
- ・論文投稿スケジュール: (TBA)

- ◆ EDM 2013: The 6th International Conference on Educational Data Mining
  - ・開催期間 : July 6-9, 2013
  - ・開催地 : Memphis, United States
  - ・URL : <https://sites.google.com/a/iis.memphis.edu/edm-2013-conference/>
  - ・論文投稿スケジュール: (TBA)

#### 2013 年 6 月開催

- ◆ ICEL 2013: 8th International Conference on e-Learning
  - ・開催期間 : 27 - 28 June 2013
  - ・開催地 : Cape Town, South Africa
  - ・URL : <http://academic-conferences.org/icel/icel2013/icel13-call-papers.htm>
  - ・論文投稿スケジュール :
    - Abstract deadline: 6 December 2012
    - Full Paper deadline: 24 January 2013
- ◆ KES IIMSS 2013:  
6th International Conference on Intelligent Interactive Multimedia Systems and Services
  - ・開催期間 : 26 - 28 June 2013
  - ・開催地 : Sesimbra, Portugal
  - ・URL : <http://iimss-13.kesinternational.org>
  - ・論文投稿スケジュール :
    - Submission of Papers: 6 January 2013
- ◆ EdMedia 2013: World Conference on Educational Media and Technology
  - ・開催期間 : June 24-28, 2013
  - ・開催地 : Victoria, BC, Canada
  - ・URL : <http://www.aace.org/conf/edmedia/>
  - ・論文投稿スケジュール :
    - Submissions Deadline: December 12, 2012
- ◆ CSCL 2013:  
10th International Conference on Computer Supported Collaborative Learning
  - ・開催期間 : June 15-19, 2013
  - ・開催地 : University of Wisconsin, Madison, USA
  - ・URL : <http://www.isls.org/cscl2013/>
  - ・論文投稿スケジュール :
    - Submission deadline (Full papers and short papers): November 2, 2012
- ◆ UMAP 2013: The 21st Conference on User Modeling, Adaptation, and Personalization
  - ・開催期間 : June 10-14, 2013
  - ・開催地 : Rome, Italy
  - ・URL : <http://www.umap2013.org/>
  - ・論文投稿スケジュール : Research Papers: January 14, 2013

#### 2013 年 4 月開催

- ◆ CHI 2013: International Conference on Human-computer Interaction
  - ・開催期間 : April 27- May 2, 2013
  - ・開催地 : Paris, France
  - ・URL : <http://chi2013.acm.org/>
  - ・論文投稿スケジュール: Papers & Notes: September 19, 2012

◆LAK 2013: Third Conference on Learning Analytics and Knowledge

- ・開催期間 : April 8-12, 2013
- ・開催地 : Leuven, Belgium
- ・URL : <http://lakconference2013.wordpress.com/>
- ・論文投稿スケジュール: Papers & Notes: November 8, 2012

**2013 年 3 月開催**

◆SITE 2013:

The 24th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

- ・開催期間 : March 25 - 29, 2013
- ・開催地 : New Orleans, Louisiana, USA
- ・URL : <http://site.aace.org/conf/>
- ・論文投稿スケジュール :  
Call for Presentations Due: October 25, 2012

◆IUI 2013: International Conference on Intelligent User Interfaces

- ・開催期間 : March 19 - 22, 2013
- ・開催地 : Santa Monica, USA
- ・URL : <http://iuiconf.org/>
- ・論文投稿スケジュール :  
Papers (Abstract) deadline: October 15, 2012  
Papers (final papers) deadline: October 22, 2012

◆CSEDU 2013: 5th International Conference on Computer Supported Education

- ・開催期間 : May 6 - 8, 2013
- ・開催地 : Aachen, Germany
- ・URL : <http://www.csedu.org>
- ・論文投稿スケジュール :  
Regular Paper Submission: November 13, 2012

**2013 年 2 月開催**

◆ACHI 2013:

The Sixth International Conference on Advances in Computer-Human Interactions

- ・開催期間 : February 24 - March 1, 2013
- ・開催地 : Nice, France
- ・URL : <http://www.iaria.org/conferences2013/ACHI13.html>
- ・論文投稿スケジュール :  
Submission deadline: September 29, 2012

◆eLmL 2013, The Fifth International Conference on Mobile, Hybrid, and On-line Learning

- ・開催期間 : February 24 - March 1, 2013
- ・開催地 : Nice, France
- ・URL : <http://www.iaria.org/conferences2013/eLmL13.html>
- ・論文投稿スケジュール :  
Submission deadline: September 29, 2012

◆WBE 2013: The 10th IASTED International Conference on Web-based Education

- ・開催期間 : February 13-15, 2013
- ・開催地 : Innsbruck, Austria
- ・URL : <http://www.iasted.org/conferences/cfp-792.html>
- ・論文投稿スケジュール :  
Submissions Due September 17, 2012

# 2012 年度 各賞の受賞者

(第 38 回通常総会にて表彰)

## 2012 年度功績賞受賞者

教育システム情報学に関する学術または関連事業に対して顕著な業績があり、学会の発展に多大な功績のあった会員・名誉会員・元会員に贈呈する。原則として年度あたり 1 名以内を選定する。

### 功 績 賞： 対 馬 勝 英 殿

対馬勝英先生は理論物理学（原子核理論）、人工知能（数式処理）、対話型情報教育、認知科学（主として視覚を中心とした認知操作過程）と幅広い研究分野に携わってきた。

対馬先生は、1993 年から 1997 年までの間、前身である CAI 学会の副会長を務められ、学会名の変更、組織改革に尽力された。これに引き続いて 1997 年から 2001 年までは教育システム情報学会の会長として、事務局移転、中国支部の立ち上げ等、本学会の発展に大きく貢献してこられた。また 1985 年には CAI 学会関西支部の設立に尽力され、副支部長、支部長、顧問として、関西支部の活動にも貢献されている。このように研究・組織運営活動を通じての本学会に対する貢献は顕著であり、理事・評議委員会において満場一致で功績賞受賞者とさせていただいた。

## 2012 年度功労賞受賞者

教育システム情報学に関する学会の諸活動に対して、著しい功労のあった会員・名誉会員・元会員に贈呈する。原則として年度あたり 2 名以内を選定する。

### 功 労 賞： 小 荒 井 順 殿

小荒井順氏は CAI の社会システムへの応用から情報通信技術の教育工学への応用、能力開発工学の教育への適応等と言った幅広い研究分野に携わってこられた。

小荒井氏は、当学会の前身である CAI 学会が発足した 1984 年から 1986 年までの間理事を務められ、学会の設立に大きく貢献されたとともに、引き続き 1986 年から 1997 年までの間同学会の監事を務められ、学会の経理監査に尽力された。さらに 1997 年から現在まで教育システム情報学会の監事として、適正な経理、学会活動等、本学会の発展に大きく貢献してこられた。また 2011 年からは法人化推進のために助言指導・組織運営活動等を行っておられる。このように、発足以来常に学会の役員を務められ、本学会に対する貢献は大変顕著であり、理事・評議委員会において満場一致で功労賞受賞者とさせていただいた。

## 2012 年度論文賞

本学会誌に掲載された論文のうち特に優秀なものを選び表彰することにより優れた研究を評価し、研究活動の促進、ならびに研究発表論文の投稿を奨励することを目的とする。

授賞論文：「産出課題としての作問学習支援のための実験的検討」

著 者：小島 一晃殿，三輪 和久殿，松居 辰則殿

授賞論文：「Presentation-Based Collaborative Learning Support System to Facilitate Meta-Cognitively Aware Learning Communication」

著 者：Kazuhisa Seta, Daijiro Noguchi, Mitsuru Ikeda

# 教育システム情報学会 第37回全国大会終了報告

全国大会実行委員長 仲林 清（千葉工業大学）

平成24年8月22日（水）から24日（金）までの3日間、千葉工業大学において教育システム情報学会第37回全国大会が開催されました。大会参加者440名、懇親会参加者185名と、大変盛況な会となりました。また、昨今の経済状況にも関わらず、企業展示17社、協賛金出資1社、広告掲載19社と、大変多くの企業の方にもご協力いただくことができました。多くの方に参加いただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

大会では、メイン会場での基調講演・特別講演・招待講演・公開フォーラム・企業セッション、および各会場に分かれての7つのワークショップ・51の企画・一般セッションにおける総計220の講演がなされました。企画・一般セッションより、大会のプログラム委員・企画委員・および座長などによる厳選な審査の結果、3件の講演が全国大会奨励賞を授賞されました。

基調講演では、前迫孝憲会長に「変化への対応と研究者の役割」というタイトルで、最新の研究の動向と今後の学会の方向性についてご講演いただきました。特別講演では、文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐の秋庭祥亜氏に「大学通信教育等における情報通信技術の活用及び情報技術人材の育成について」というタイトルにて講演いただき、日本の大学の現状やこれからあるべき高等教育の在り方についてお話いただきました。2日目の招待講演は、放送大学学園理事長の白井克彦先生に「生涯学習社会を支える教育システム技術」というタイトルで、今後のeラーニングの展開への期待をお話いただきました。また、3日目の招待講演は、千葉工業大学惑星探査研究センター所長・東京大学名誉教授 松井孝典先生に「宇宙と生命、その研究の現状と日本の宇宙政策」というタイトルで、宇宙と生命の起源を探る最先端の研究の状況をお話いただきました。公開フォーラムでは、「ソーシャルメディアが創り出す学習・教育環境の光と影」というタイトルで、近年大きな着目を集めているソーシャルメディアが、学習・教育に与える影響を様々な側面から、気鋭の研究者の方々にご討論いただきました。

またこれまでの大会でも好評だった企業セッションを企画し、大会初日の基調講演の直後に実施しました。13社の企業が参加し、各社が企業展示内容等を紹介しました。これまでの経験を生かし、各企業の方や渉外活性化委員会の方が綿密な事前準備をされ、大変効率的な運営がなされており、約150名の多くの参加者の方が熱心に耳を傾けておられました。また夕刻のウェルカムパーティでは千葉の地ビールなどを楽しみながら、熱心に情報交換がなされていたようです。

また、大会の雰囲気味わっていただくために、展示企業様のご厚意により、部分的ですが講演映像の録画・掲載も実施しました。現在、学会Webにて、学会誌編集委員会企画のワークショップの一部が視聴できますので、是非ご覧ください。

最後に、本大会の実施にあたり、前迫孝憲会長をはじめ理事・評議員の皆様、不破泰委員長をはじめとする大会企画委員会の皆様、企画セッションを企画運営いただいた平嶋宗員長をはじめとする研究会委員会の皆様、ワークショップを企画運営いただいた皆様、公開フォーラムを企画していただいた柏原昭博先生、各セッションの座長の皆様、大会当日ご支援を賜りました学会事務局の皆様、実行委員会および学生スタッフの皆様など、大変多くの方のご協力をいただきました。大変感謝いたします。

次年度開催されます金沢大学での第38回全国大会がより盛況な会になることを祈念いたしまして、終了報告とさせていただきます。

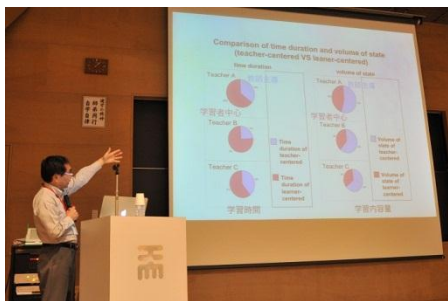
## 第37回全国大会奨励賞受賞一覧

全国大会奨励賞は、全国大会で行われた一般講演（一般セッションおよび企画セッション）の中から、特に優秀な研究に対して授与するものです。第37回全国大会においては、以下の規定を満たす発表から発表件数の3%を目処に選定しました。

- 選定対象者は、本学会の会員であって、受賞時（大会最終日）に40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していないこと。
- 発表論文の第一著者、かつ発表時において登壇者であること。
- 直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないこと。

この条件を満たす選考対象78件から、論文審査による1次審査、1次審査の候補論文を対象とした論文審査・発表審査による2次審査を経て、下記3件が大会奨励賞に選定されました。受賞された皆様に心からお祝い申し上げます。審査にご協力いただきました皆様には、改めてお礼申し上げます。

| 受賞者   | 題 名 共著者                                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 入部百合絵 | 調音特徴抽出に基づく発音マップへの英語発音リアルタイム表示<br>入部百合絵（豊橋技術科学大学），<br>森 拓郎，桂田浩一，新田恒雄（豊橋技術科学大学大学院）                        |
| 千葉佑介  | 講師力の定義・構造化と有用性の検証<br>～研修事業会社の講師力向上への取組みを例として～<br>千葉佑介（富士通ラーニングメディア，熊本大学大学院），<br>北村士朗，喜多敏博，合田美子（熊本大学大学院） |
| 岡本 勝  | Web カメラ映像を用いた確率ネットワークによる姿勢判別手法<br>岡本 勝，赤井悠子，松原行宏（広島市立大学大学院）                                             |



基調講演：前迫会長



特別講演：秋庭氏



総会



招待講演 1：白井理事長



招待講演 2：松井教授



公開フォーラム



奨励賞表彰式



企業展示



ウェルカムパーティ



懇親会：小宮千葉工業大学学長

# 新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

## ●新入会正会員・準会員

2012/8～2012/9

| 会員番号           | 名前    | 所属機関         | 会員種別 |
|----------------|-------|--------------|------|
| JSiSE-A1203210 | 坂本毅啓  | 北九州市立大学      | 正会員  |
| JSiSE-A1203211 | 斉藤泰斗  | 東京情報大学       | 準会員  |
| JSiSE-A1203212 | 花田真樹  | 東京情報大学       | 正会員  |
| JSiSE-A1203213 | 西尾信大  | 熊本大学大学院      | 準会員  |
| JSiSE-A1203214 | 中川泰宏  | 千葉工業大学       | 正会員  |
| JSiSE-A1203215 | 田井眞直子 | 早稲田大学大学院     | 準会員  |
| JSiSE-A1203216 | 長瀬昭彦  | 株式会社 WARK    | 正会員  |
| JSiSE-A1203217 | 石川浩一郎 | 千葉工業大学       | 正会員  |
| JSiSE-A1203218 | 平岡斉士  | 京都大学         | 正会員  |
| JSiSE-A1203219 | 布施淳子  | 熊本大学         | 準会員  |
| JSiSE-A1203220 | 鈴木伸子  | 熊本大学         | 準会員  |
| JSiSE-A1203221 | 天野 慧  | NHK出版        | 準会員  |
| JSiSE-A1203222 | 今枝奈保美 | 名古屋女子大学      | 正会員  |
| JSiSE-A1203223 | 河地裕介  | 大阪大学         | 正会員  |
| JSiSE-A1203224 | 武藤晃一  | 藤田保健衛生大学     | 正会員  |
| JSiSE-A1203225 | 近藤隆司  | 大分大学         | 正会員  |
| JSiSE-A1203226 | 佐藤 修  | 東海大学付属望星高等学校 | 正会員  |
| JSiSE-A1203227 | 徳永基与子 | 京都光華女子大学     | 正会員  |
| JSiSE-A1203228 | 平野加代子 | 京都光華女子大学     | 正会員  |
|                |       |              | 13   |
|                |       |              | 6    |

## ★★年会費納付のお願い★★

2012 年度年会費の納付期限は、2012 年 9 月末とさせていただきます。

まだ、ご入金がお済でない会員の皆様は、至急お納めいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

(期日を過ぎましても、随時受け付けております)

前年度以前の未納金が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が 3 年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しく願い致します。 ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

**JSiSE 事務局 E-mail : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)**

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。

ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

### ◎振込先◎

### ◎年会費のご案内◎

■銀行名 : ゆうちょ銀行 支店名 : 019 店  
 ■当座預金 : 0709632 ※電信振替 : 00180-6-709632  
 ■口座名義 : 教育システム情報学会

■銀行名 : 池田泉州銀行 支店名 : 上新庄支店  
 ■普通預金 : 13440  
 ■口座名義 : 教育システム情報学会 家本 修

■正会員 : 7,000 円  
 ■準会員 : 4,000 円  
 ■企業・団体会員 : 50,000 円  
 ■研究報告年間購読 : 4,000 円  
 ■入会金 : 1,000 円 (初年度のみ)

## 教育システム情報学会 第 38 回通常総会の開催報告

■日 時：平成 24 年 8 月 23 日 13:00～14:00

■会 場：千葉工業大学 芝園キャンパス

会場出席者数 80 名、委任状 240 名、合計 320 名により、規約第 43 条の会員総数の 10 分の 1 以上を満たしている為、第 38 回通常総会の開催が成立された。

総会開催にあたって議長の選出が行われた。慣例により前迫会長が議長に選出され、満場一で承認された。前迫議長進行の元総会が行われ、全議案が承認された。

### -----第 38 回通常総会議案-----

第 1 号議案 2011 年度活動報告に関する件

第 2 号議案 2011 年度決算報告に関する件

第 3 号議案 2011 年度監査報告に関する件

第 4 号議案 2012 年度活動計画（案）に関する件

第 5 号議案 2012 年度予算（案）に関する件

※総会議案書は、学会 Web ページよりご確認ください。

## 新 入 会 員 募 集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に行われる研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

### ■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会 Web ページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので (PDF ファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈**させて頂くというキャンペーンを行っております。こちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

### ■学会事務局宛■

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号

教育システム情報学会事務局 宛

TEL/FAX 06-6324-7767 Email : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)

## 〔 法人化に向けての検討内容の概要報告：その 1 〕

教育システム情報学会法人化検討委員会

現在、教育システム情報学会では、時限委員会としての法人化検討委員会の下で、法人化に向けて検討しています。理事・評議員会にも少しずつ状況報告できるような段階にきています。そこで、会員各位にもその検討状況の概要を報告し、種々の意見・コメントなどの基に、当学会の基盤造りに心掛けたく考えています。検討はまだ途中段階ではありますが、今後定期的に状況を簡単に報告することにいたします。

### 教育システム情報学会における法人化(一般社団法人)への考え方

#### (法人化の方向)

- ・公益法人制度改革により、学会でも法人化への移行を目指すことが日本学術会議で確認されている。
- ・多くの学会が、これにより法人化を進めている。

#### (法人化の趣旨)

- ・学会が今後様々な組織(政府、自治体、企業、財団など)の資金を得て研究活動の事業を加速し、推進していくには、契約主体である「資金の受入れ先」として法人であることが望ましい。
- ・社会的な活動実体として、法人格を当学会が得ることは種々のイベント企画、プロジェクト形成、活動連携などを行う上で、重要な要素と考えられる。

#### (一般社団法人化への理由)

- ・法人化には、公益社団法人が別にある(これら以外に、財団法人があるが、対象外)が、公益社団法人は運用の制約、行政庁の監督が厳しく、これに対応するには管理・維持コストが必要で、現財政では困難であること
- ・現段階で体制、体勢などが十分に整っているわけではなく、先ず一般社団法人化を目指す。その後、必要であれば、公益社団法人を目指すことも考えられること
- ・一般社団法人の「非営利」は、収益事業のみに課税され、会費徴収などの共益事業には適用されず、非課税となり、税務上での利点が大いなこと

## 他学会への後援・協賛のご報告

※掲載順不同・敬称略

共 催 I. 医療系 e-ラーニング全国交流会

『第7回医療系 e-ラーニング全国交流会』

日 時：平成 25 年 1 月 12 日(土)～13 日(日)

会 場：徳島大学 常三島キャンパス

協 賛 II. 情報処理学会 組込みシンポジウム

『組込みシンポジウム 2012 (ESS2012)』

日 時：平成 24 年 10 月 16 日(火)～19 日(金)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

協 賛 III. 情報処理学会 初等中等教育委員会

『高校教科「情報」シンポジウム 2012 年秋 ジョーシン 2012 秋』

日 時：平成 24 年 10 月 27 日(土) 10:30～17:00

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス

## 教 員 公 募 の お 知 ら せ

○電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 教員公募

1. 職名・募集人員 教授 2 名 准教授 1 名 (社会知能情報学分野)

2. 専門分野等

社会知能情報学専攻は、人間・社会システムの現場の視点に立ち、情報システムの最新技術を問題解決に活用することにより、新しい社会生活の実現に向けた実践的システムの開発・提案に積極的に取り組む専攻です。知能情報学、教育情報工学、社会情報学、経営情報学、あるいはそれらの複合領域など広い対象領域において、工学的アプローチによる分析やシステム構築を目指す研究分野を対象とします。

Key words：人工知能、知識処理、教育、ソーシャルメディア、社会ネットワーク、Human Computer Interaction、リスク工学、プロダクトマネジメント、ビッグデータ活用、情報デザイン、複雑系、集合知など。

3. 担当講座等

ご担当いただく講座は、応募者と相談の上で決定いたします。

- ・知識創産システム学講座(教授)／社会情報システム学講座(教授)
- ・経営情報システム学講座(准教授)

講義は、各講座が開講する専門科目や社会知能情報学合同輪講などの大学院科目を担当していただきます。

4. 応募資格

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 上記の専門分野において実績があり、教育と研究を通して同分野の発展に貢献できること
- (3) 情報系・工学系の大学院学生に向けた研究指導および講義を担当できること
- (4) 日本語により学生を指導できること

5. 採用予定：2013(平成 25)年 4 月 1 日 (それ以降のできるだけ早い時期)

6. 応募締切：2012(平成 24)年 10 月 17 日 (水) (必着)

7. 応募書類・応募先などの詳細は

<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

[http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad\\_20120816-2.pdf](http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20120816-2.pdf) をご覧ください。

8. 問い合わせ先

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻長 田中健次

E-mail：[tanaka@is.uec.ac.jp](mailto:tanaka@is.uec.ac.jp)

## ○北海道大学情報基盤センター 教員公募

1. 募集機関：北海道大学 情報基盤センター

2. 職名・人員：准教授・1名

3. 職務内容

1) 所属部門：メディア教育研究部門

2) 研究分野等

メディア教育研究部門では、現在、情報教育の高度化、教育の情報化、教育のオープン化、ICT を利活用した教育・学習及び支援システムに関する研究、ICT を利活用した協調学習を基盤とするコミュニケーション能力育成に関する研究を行っています。

本公募では、教育のオープン化および ICT を利活用した教育・学習に関し、先進的な教育・研究を推進できる方を求めます。

3) 任 務

所属部門において専門分野の研究に従事し、大学院教育を担当する。

全学教育科目を担当する。

本センターの教育情報システムの企画・管理・運用及びセンターの運営等関連業務を担当する。

4. 勤務形態：常勤（任期なし）

5. 採用予定日：平成25年4月1日

6. 勤務地：北海道大学情報基盤センター（北海道札幌市北区北11条西5丁目）

7. 待遇等：「国立大学法人北海道大学職員就業規則」並びにその他諸規則による。

8. 資格等：次の要件をすべて満たす者

1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有する。

2) 教育のオープン化、ICT を利活用した教育・学習に係わる研究の実績を有する。

3) 教育用の情報システムの運用・支援の実績を有する。

4) 学会活動等社会貢献活動の実績を有する。

5) 大学院博士課程における教育・研究指導を担当する能力を有する。

9. 公募締切：平成24年11月30日（金）17:00（必着）

10. 提出書類等

1) 履歴書（氏名、写真貼付、国籍、生年月日、現住所、電子メールアドレス、電話番号、所属、職名、学歴、職歴、学位を記載のこと。）

2) 業績リスト（論文、著書、解説、作品等。著者名、発行所名、発行年、ページ数等を明記する。論文は査読付の有無を明記し、著書、解説、作品等はその旨明記する。）

3) 主要業績5編の原著作物又は複製物

4) 主要業績の説明及び教育実績を含む研究・教育活動の概要（8. 資格等の（2）及び（5）について記述すること。）

5) 教育用の情報システムの運用・支援の実績の概要（8. 資格等の（3）について記述すること。）

6) 競争的資金の獲得状況（代表・分担を明示すること。）

7) 所属学会と役職等活動歴、その他社会貢献活動

8) 受賞歴、その他教育・研究活動及び学会活動等社会貢献活動を評価できる資料

9) 将来の研究・教育に関する抱負と展望又は応募の趣旨

（情報基盤センターの活動にどのように貢献するかという記述を含むこと。）

10) 所見を求め得る方2名以内の氏名と連絡先

※ 原則として、提出書類は返却しない。

※ 応募に当たり取得する個人情報については、選考並びに採用後の任用手続・人事管理等就業上必要とする場合に使用するものであり、これ以外の目的には利用及び第三者への提供は行わない。

11. 選考方法：書類審査による。ただし、必要に応じて、面接を行う場合がある（面接は日本語で行い、研究に関する質疑応答等を行う場合がある。また、来場に係る交通費等は支給しない）。

また、適任者のない場合は、決定を保留することがある。

12. 提出書類送付先及び問い合わせ先

（1）提出書類送付先：〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西5丁目

北海道大学情報環境推進本部情報推進課総務企画担当

提出方法：提出書類を取りまとめ、封筒等表面に「メディア教育研究部門准教授応募書類在中」と朱書きの上、持参あるいは書留（簡易書留）で送付すること。

（2）問い合わせ先：〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西5丁目

北海道大学情報基盤センター メディア教育研究部門教授 布施 泉

13. その他：北海道大学情報基盤センター（研究部門構成を含む）については、本センターホームページを参照願います。 <http://www.iic.hokudai.ac.jp/>